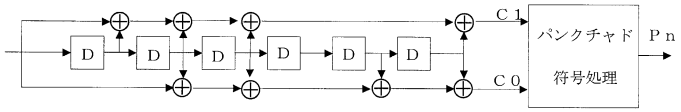
3　伝送主信号の誤り訂正内符号は、畳込み符号方式及びパンクチャド符号化方式の組み合わせによるものとする。



注１　Ⓓは１ビット遅延素子を表す。
　２　⊕は、排他的論理和の演算素子を表す。
　３　パンクチャド符号の詳細は、次表のとおりとする。

パンクチャド符号詳細

（入力信号列Ｃ１，Ｃ０がパンクチャドパターンによりP_nになる。）

符号化率＼入力	Ｃ１ Ｃ０	Ｘ１ Ｙ１	Ｘ２ Ｙ２	Ｘ３ Ｙ３	Ｘ４ Ｙ４	Ｘ５ Ｙ５	Ｘ６ Ｙ６	Ｘ７ Ｙ７	Ｘ８ Ｙ８	Ｘ９ Ｙ９
１／２	パンクチャドパターン	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
	P_n	Ｘ１	Ｙ１	…						
２／３	パンクチャドパターン	○ ○	× ○	○ ○	× ○	○ ○	× ○	○ ○	× ○	○ ○
	P_n	Ｘ１	Ｙ１	Ｙ２	…					
３／４	パンクチャドパターン	○ ○	× ○	○ ×	○ ○	× ○	○ ×	○ ○	× ○	○ ×
	P_n	Ｘ１	Ｙ１	Ｙ２	Ｘ３	…				
５／６	パンクチャドパターン	○ ○	× ○	○ ×	× ○	○ ×	○ ○	× ○	○ ×	× ○
	P_n	Ｘ１	Ｙ１	Ｙ２	Ｘ３	Ｙ４	Ｘ５	…		
７／８	パンクチャドパターン	○ ○	× ○	× ○	× ○	○ ×	× ○	○ ×	○ ○	× ○
	P_n	Ｘ１	Ｙ１	Ｙ２	Ｙ３	Ｙ４	Ｘ５	Ｙ６	Ｘ７	…

○：伝送ビット　×：非伝送ビット

P_nの欄ではパンクチャドパターン１周期分のみを具体的に示すものとし、「…」は以後同様のパターンを繰り返すことを意味する。

４　パンクチャド符号化はフレーム同期でリセットされるものとする。

別表第十三号　ＴＭＣＣシンボル及びＡＣシンボルの構成（第13条第４項、第14条第２項関係）

ＴＭＣＣシンボル及びＡＣシンボルは、以下の構成とする。

B'_iの値	変調信号の振幅（Ｉ，Ｑ）
０	（４／３，０）
１	（－４／３，０）

注１　ＴＭＣＣ信号については、差動符号化前の情報B_0からB_{203}に対し、差動符号化後の情報をB'_0からB'_{203}としたとき、

$B'_0 = W_i$（差動基準）

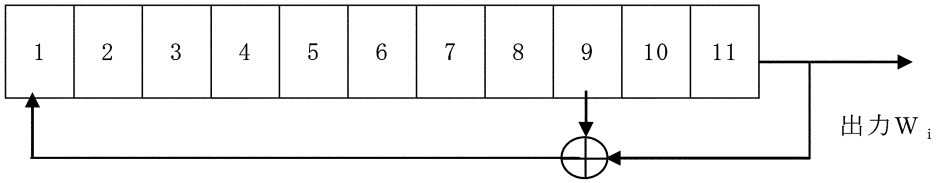
$B'_k = B_{k-1} \oplus B_k$（ｋ＝１～203、⊕：排他的論理和の演算素子）

とする。ただし、W_iは別表第十四号に示すW_iと同一の値をとるものとする。

　２　ＡＣ信号については、上記注１を準用する。

別表第十四号　ＳＰシンボル及びＣＰシンボルの構成（第14条第１項関係）

ＳＰ信号及びＣＰ信号用の11次の電力拡散信号（$x^{11}+x^9+1$）は、下図に示す発生器により、全てのレジスタについて１を初期値としてセットし、ＯＦＤＭフレームの全キャリアの左端から右端まで、キャリア番号ごとに順次連続して発生させるものとし、出力ビットW_iに対し２相位相変調のためのキャリア変調マッピングを行うこととする。



注１　各レジスタの初期値は、以下のとおりとする。

⑴　地上基幹放送局を用いて行う超短波放送のうちデジタル放送及びセグメント連結伝送放送であって１セグメント形式のＯＦＤＭフレームによるもの

ＯＦＤＭフレームの中央の周波数を含むサブチャンネル番号	モード１の初期値	モード２の初期値	モード３の初期値
41，０，１	11100100101	00011011110	11100011101
２，３，４	11111111111	11111111111	11111111111
５，６，７	11011001111	01101011110	11011100101
８，９，10	01101011110	11011100101	10010100000
11，12，13	01000101110	11001000010	01110001001
14，15，16	11011100101	10010100000	00100011001
17，18，19	00101111010	00001011000	11100110110
20，21，22	11001000010	01110001001	00100001011
23，24，25	00010000100	00000100100	11100111101
26，27，28	10010100000	00100011001	01101010011
29，30，31	11110110000	01100111001	10111010010
32，33，34	00001011000	11100110110	01100010010
35，36，37	10100100111	00101010001	11110100101
38，39，40	01110001001	00100001011	00010011100